



「30作品目記念 平和カレンダーのあゆみ」 を市ホームページで紹介しています

問 企画経営課 ☎ 内線2115

市では非核・平和事業の一環として、市内小学生から平和の絵を、市民のみなさんから平和へのメッセージを募集し、入選作を掲載した「平和カレンダー」を制作しています。昭和から平成へと変わった1989年の初版から数えて、今回の平成30(2018)年版はちょうど30作品目となります。

これを記念して、市ホームページ特設サイト「みたかデジタル平和資料館」に「30作品目記念 平和カレンダーのあゆみ」ページを作成しました。これまでの全30作品に掲載された表紙作品や平和へのメッセージをご紹介します。30年にわたる平和への願いをぜひご覧ください。



1作品目の1989年版平和カレンダーの表紙

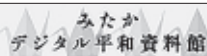
同サイトから、最新版の平和カレンダーをダウンロードできます。



特設サイト「みたかデジタル平和資料館」

アクセス方法

市ホームページトップページ右上のバナー(右図)、または
トップページ→総合サービス案内「三鷹の魅力」→みたかデジタル平和資料館からご覧ください。



男女平等参画 推進事業

第3回 パパッと親子料理教室 今日からできる! 簡単パパ料理

保育

問 企画経営課 ☎ 内線2115

料理初心者のお父さん(お母さん)大歓迎! 子どもと一緒に楽しく簡単に作れる料理にチャレンジしてみませんか。今回のメニューは、2月3日の節分に向けて「親子そばろ恵方巻き」「味噌けんちん汁」「まぜて簡単マドレーヌ」です。

日 平成30年1月28日(日)午前10時～午後1時

人 市内の小学生と保護者15組30人、保育(1歳～未就学児)5人

所 生涯学習センター

講 管理栄養士で健康運動指導士の鈴木明子さん

料 ￥1組1,000円(材料代)

物 エプロン、三角巾、手拭きタオル、布巾、台布巾、飲み物

申 12月28日(休)正午までに、参加者全員の必要事項(11面参照)、保育希望者はお子さんの氏名(ふりがな)・年齢を同課 ☎ 内線2115・FAX 45-1271・✉ kikaku@city.mitaka.tokyo.jpへ。電子申請サービス [HP](http://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/) <http://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/>からの申し込みも可(申込多数の場合は抽選)

天文・科学情報スペース企画展

「天体望遠鏡の歴史・しくみ・使い方」

問 同スペース ☎ 26-9951

1609年にガリレオが望遠鏡を夜空に向けてから約400年。長い年月を経て、私たちが日常的に使える小型のものから、宇宙の謎を解明するために必要な大型のものまでさまざまな天体望遠鏡が発明されました。

今回の展示では、天体望遠鏡の歩んできた歴史から仕組みについて、さらに天体望遠鏡を実際に選ぶときのポイントまで紹介します。

日 平成30年1月5日(金)～2月18日(日)

午前11時～午後6時30分(月・火曜日、祝日休館)

所 同スペース(下連雀3-28-20三鷹中央ビル1階)

申 期間中会場へ



天体望遠鏡「ニュートンレプリカ2006」

季節を感じる旬のレシピ

所 問 生涯学習センター ☎ 49-2521

旬の食べ物は、新鮮・安価で栄養価も高く、その時期に起こりやすい体調不良をカバーする効能が期待できる成分が多く含まれています。食材の旬を肌で感じ、シンプルでおいしい料理を学びます。

日 公財三鷹市スポーツと文化財団

日 ①～③いずれも水曜日午前11時～午後1時30分

メニュー

①「冬のあったかイタリアン」 スパゲティ・ボンゴレ(ナポリ風)、鶏とレンズ豆の赤ワイン煮、パンナコッタ
平成30年1月31日

②「春の和食」 牛肉とゴボウの混ぜ寿司、鶏の甘酒焼き、小松菜とひじきのクリーム白和え、電子レンジで作る! イチゴ大福
2月28日

③「私の家呑みレシピ」 手羽先の唐揚げ(名古屋風)、菜の花と鶏、豆もやしのナムル、天むすおにぎり
3月28日

人 16歳以上の方各12人

講 料理研究家で家庭料理コンサルタントの岩本ゆき子さん

料 ￥1回3,000円(材料代を含む)

物 エプロン、三角巾

申 12月18日(月)から、①30年1月19日(金)・②31日(水)・③2月28日(火)までに直接または電話、インターネットで同センター ☎ 49-2521・[HP](https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp/) <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp/>(三鷹中央防災公園・元気創造プラザ講座申込システム)へ(申込多数の場合は在学・在勤を含む市民を優先して抽選)

第64回

市民文化祭入賞者

(敬称略)

問 芸術文化課 ☎ 内線2911

◆俳句会

◆文化祭賞

敗戦忌巻けば動きし古時計

◆特選

億年の時を積みゆく月の船

秋の暮もういいかが遠ざかる

◆佳作

牛のいぬ牛舎飯館虫の闇

古民家のふれあひサロン草の花

名ばかりの島の銀座や鶏頭花

色なき風海は久しく青くあれ

小さき蚊の何処に目があり鼻がある

流される時を踏ん張るあめんぼう

◆ジュニア短歌大会

◆大会賞

せみくらしい大きな声にさげびたい心の底から自分の声を

ハイビスカス空の真下で映える赤舞台はたった一日だけど

白文鳥名前前決まればこれからは家族の一員どうぞよろしく

動物も人間たちも住みやすい地球にしよう自分達の手で

砂浜にぼうりだされたむぎわらぼうし

しずかに聴いてるはしゃいでいるこえ

そろばんの教室行くとパチパチと昔ながらの音なりひびく

夜おそく仕事が終わってつかれても

母はいつでも笑ってくれる

夏休み家族と行った夢の国帰ってくれば勉強の国

真つ白な巨人みたいだ入道雲ゆつくり海を歩いているよ

太鼓打つ手の皮めくれ痛いけど心に響けいざ夏祭り

西澤凜音(井口小6年)

土田将弘(井口小6年)

◆ジュニア俳句大会

はじめての夏目漱石ながい夏

雲のみね打ったボールを飲み込んだ

肝付ブルーノ兼人(五小4年)

帯しめて背が伸びたかな初ゆかた

高嶋菜智(井口小6年)

砂浜で麦わら帽子が飛んでゆく

夏の海波にのまれて二回転

歌田瑠奈(大沢台小5年)

さくさくと登ってみたいなかき氷

山口ひな子(北野小5年)

みずくさは空気いっぱいふくんてる

土屋兆治(二小2年)

ひまわりは火のようないろもえるいろ

黒石菜里(二小1年)

夕立に追いつかれるなおにごっこ

海老名仁美(東台小5年)

母の声信じているよすいかわり